

世 界 史

注 意

1. 問題は全部で6ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その2)はマーク・シートになっている。**HB**の黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)

1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
---	----------------------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------	-----------------------

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

〔 I 〕 次の文を読み問いに答えなさい。解答用紙は(その1)を使用すること。

(a) 年に調印された、(①)の古都マーストリヒトで開催された会合の取り決めに盛り込んだ条約に基づき、ヨーロッパ単一通貨(ユーロ(euro))は⁽¹⁾
(b) 年1月に誕生した。はじめは当時のEU(ヨーロッパ連合)加盟15カ国中11カ国が採用するだけであったが、2001年1月には(②)が、2007年にはその3年前の2004年にEUに加盟した10カ国のうちの(③)が、2008年1月には(④)および(⑤)が、そして2009年にはスロヴァキアが加わり、計16カ国の通貨となっている。2010年12月の時点でユーロに参加しないEU加盟国は11カ国である。

ユーロの誕生当初は銀行間の大口取引の決済などで使用されただけで、ユーロの紙幣や硬貨(コイン)が発行されたのは (c) 年からであった。ユーロ紙幣を発行するのは(⑥)に本部を置くECB(ヨーロッパ中央銀行)である。このことは広い意味で各加盟国が保有する国家主権の一部をEUに移譲したことの帰結である。⁽⁴⁾

これに対して、硬貨の場合、ユーロ加盟国の政府が発行するが、硬貨の片面は共通デザインをもち、一方の片面には加盟各国のシンボルともいえる図柄が施されている。とはいえ、ユーロの紙幣・硬貨はユーロ加盟国の共通通貨であるので、それが加盟国であればどの国でも通用する。今日、ユーロは世界最大の経済大国(⑦)の通貨に並ぶ国際通貨としての地位を確立している。

問 1 ①～⑦にふさわしい国名を書きなさい。

問 2 (a)～(c)にふさわしい年(西暦)を書きなさい。

問 3 下線部(1)～(4)に関する問いに答えなさい。

(1) 下線部(1)に関し、この条約交渉に参加しなかった政治家を下記から3人選び、記号で答えなさい。

イ ジャック・ドロール

ロ トニー・ブレア

ハ ヘルムート・コール

ニ フランソワ・ミッテラン

ホ マーガレット・サッチャー

ヘ フェリペ・ゴンサレス

ト ジャック・シラク

(2) 下線部(2)に関し、EUと呼ばれるようになったのは1993年11月からであるが、その直前は何と呼ばれていたか、下記から記号を1つ選びなさい。

イ ECSC(ヨーロッパ石炭鉄鋼共同体)

ロ EEC(ヨーロッパ経済共同体)

ハ EFTA(ヨーロッパ自由貿易連合)

ニ EC(ヨーロッパ共同体)

(3) 下線部(3)に関し、このとき加盟しなかった国を下記の記号から3つ選びなさい。

イ フィンランド

ロ ポーランド

ハ ハンガリー

ニ チェコ

ホ デンマーク

ヘ ラトヴィア

ト エストニア

チ ルーマニア

(4) 下線部(4)に関し、このように国家主権の移譲に触れるようなEUの統合をヨーロッパのジャーナリストは独特の言葉で表現したが、これを何というか。下記から記号を1つ選びなさい。

イ EUの拡大

ロ EUの深化

ハ EUの民主化

ニ EUのグローバリゼーション

〔Ⅱ〕 次の(1)～(8)の記述に関する下記の問いに答えなさい。解答用紙は(その2)を使用すること。

- (1) マレー人の王朝。8世紀後半以降ジャワで優位を築いたのち、カンボジアをはじめ大陸部各地に勢力を伸ばし、仏教を保護した。
- (2) 1世紀に建ち西トルキスタンから西北インドを支配した王朝。カニシカ王の時代に全盛期を迎えた。3世紀に衰退したが5世紀末まで存続した。
- (3) 11世紀なかばに西サハラの遊牧民ベルベル人がモロッコに建てたイスラーム王朝。ガーナ王国、アルジェリア、さらにイベリア半島にも進出した。
- (4) 3世紀前半、アルダシール1世により創始された王朝。イラン古代史上の隆盛期を築き、美術など文化面でも広範囲な影響を及ぼした。長くイラン高原を支配し続けたが7世紀中葉に崩壊した。
- (5) マケドニア人の建国による古代エジプト最後の王朝。クレオパトラ(7世)の自殺とその息子の殺害により前30年に滅亡した。
- (6) ガンジス川中流域の征服に発し、5世紀前半の全盛期には支配地は北インド全域と中央インドに及んだ。サンスクリット文学や純インド風美術が庇護によって栄えたが、エフタルの侵入で衰退した。
- (7) 10世紀初頭に北アフリカに興ったシーア派イスラーム王朝。チュニジアを本拠としたがエジプトを征服したのち、カイロ市を建設して同地に遷都し、シリアやアラビアにも支配を広げた。
- (8) 11世紀前半に中央アジアから興ったトルコ系スンナ派のイスラーム王朝。小アジアへの進出がビザンツ帝国を脅かし、十字軍遠征の遠因となった。

問 1 (1)~(8)の記述に該当する王朝名を語群Aから一つずつ選んで記号でマークしなさい。

語群A

- | | |
|-----------|-----------------|
| a アケメネス朝 | b グプタ朝 |
| c セルジューク朝 | d 後ウマイヤ朝 |
| e アンコール朝 | f プトレマイオス朝 |
| g アッバース朝 | h ファーティマ朝 |
| i マムルーク朝 | j ウマイヤ朝 |
| k ササン朝 | l マウリヤ朝 |
| m ブワイフ朝 | n シャイレンドラ朝 |
| o ムワッヒド朝 | p クシャーナ朝(クシャン朝) |
| q ムラービト朝 | r サーマーン朝 |
| s ヴァルダナ朝 | t バガン朝 |
| u アユタヤ朝 | v ゴール朝 |
| w セレウコス朝 | x ナスル朝 |

問 2 (1)~(8)の記述に該当する王朝に最も関係の深いものを語群Bから一つずつ選んで記号でマークしなさい。

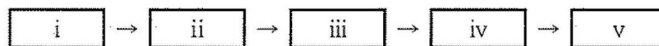
語群B

- | | |
|----------------|-------------|
| a カーリダーサ | b ルバイヤート |
| c ハールーン・アッラシード | d トンプクトゥ |
| e ラマ教 | f アンティオキア |
| g マラケシュ | h タージ・マハル |
| i ムセイオン | j アンコール・ワット |
| k ペルセポリス | l ガンダーラ美術 |
| m リグ・ヴェーダ | n アショーカ王 |
| o アルハンブラ宮殿 | p サラディン |
| q ボロブドゥール | r アズハル学院 |
| s ゴロアスター教 | |

〔Ⅲ〕 以下の文章を読んで、設問に答えなさい。解答用紙は(その2)を使用すること。

- (A) 朝鮮半島では、①(a 明 b 渤海 c 倭寇 d 吐蕃)の勢力を駆逐して、李成桂が朝鮮王朝をたてた。この王朝では科挙も実施され、政治の実権をにぎったのは、②(a 軍閥 b 商人 c 郷紳 d 両班)であった。
- (B) イスラーム系商人は、中国の沿海地域にも進出した。貿易港としては、マルコ・ポーロが世界最大の港と呼んだ福建の③(a 福州 b 厦門 c 寧波 d 泉州)などがさかえた。この時代には内陸運河の開削も進み、王朝の首都である④(a 長安 b 開封 c 大都 d 杭州)は、内陸に位置していながらも港をもつようになった。
- (C) さまざまな理由から、清朝はヨーロッパ船との貿易は、これを広州に限定して、⑤(a 海関 b 公所 c 会館 d 公行)という特許商人の組合に管理させた。
- (D) 異民族の支配をきらった漢人の鄭成功は、⑥(a 満洲 b 台湾 c 貴州 d 青海)に根拠地をつくり、漢人王朝の復活をめざした。遷界令によって貿易は制限されたが、鄭氏の政権が減ぶと、その制限はいったん解除された。
- (E) 三国に分かれて勢力争いをしていた琉球では⑦(a 正統帝 b 順治帝 c 尚巴志 d 張居正)が統一王国をつくった。

問 1 (A)～(E)の文章を時代順にならびかえるとどのような順序になるか。その順序を示す i～v に入る(A)～(E)の記号をマークしなさい。



問 2 ①～⑦について、もっとも適切な用語を選んでマークしなさい。

問 3 下線部(イ)に関する以下の文章について、もっとも適切な用語を選んでマークしなさい。

この王朝では、貴族の土地を没収して、官僚に支給する(a 骨品制
b 里甲制 c 均田制 d 科田法)という制度が導入された。

問 4 下線部(ロ)に関する以下の文章について、もっとも適切な用語を選んでマークしなさい。

ヨーロッパの中ではロシアとは独特の関係をきずいた。(a 1661年
b 1683年 c 1689年 d 1727年)、ピョートル1世とのあいだにネルチンスク条約をむすび、国境線を画定し、国境貿易のあり方などをとりきめた。

問 5 下線部(ハ)に関する以下の文章について、もっとも適切な用語を選んでマークしなさい。

中国を統治したこの王朝は、雲南なども統治した。はじめは各地の族長を役人に任命したが、のちに、(a 改土帰流 b 節度使 c 宦官
d 形勢戸)という中央から役人を派遣する制度に変更していった。

問 6 下線部(ニ)に関する以下の文章について、もっとも適切な用語を選んでマークしなさい。

この王国は中国の王朝への朝貢貿易や東南アジアとの貿易によってさかえた。貿易の範囲はきわめて広く、(a マラッカ b カリカット
c アデン d コロンボ)にも及んだ。

